



魔法のふでばこ 成果報告会 (聴覚障がいの生徒の例)

大分県立宇佐支援学校
報告者 高野 嘉裕



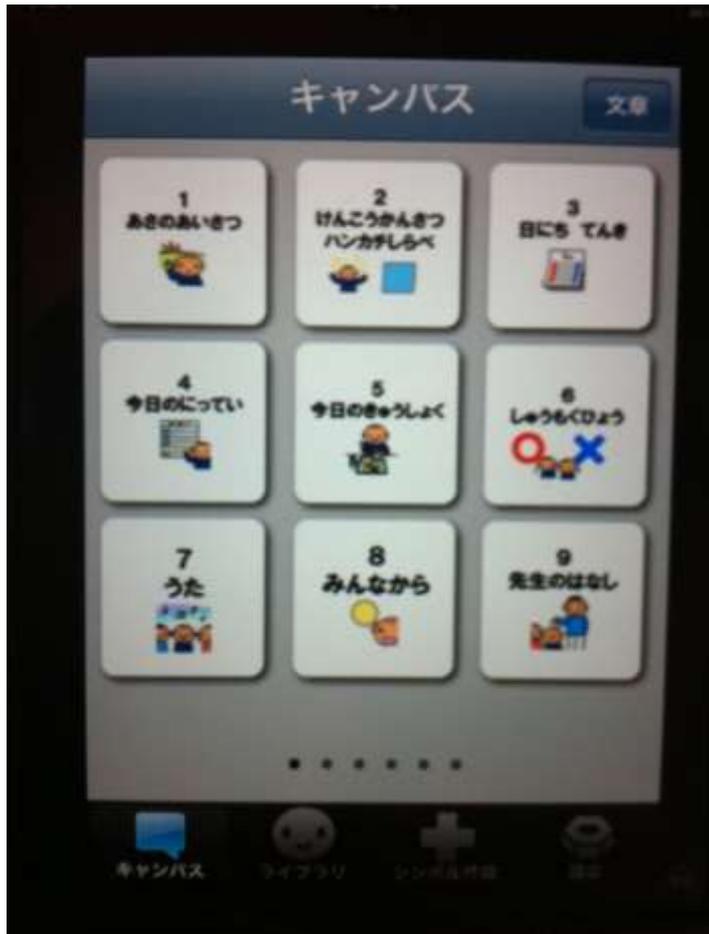
その1

DropTalk

朝の会

発語がないために一人での司会が難しい

朝の会の流れは理解している



その1

DropTalk



朝の会

発語がないために一人での司会が難しい

朝の会の流れは理解している



音声での司会進行により、他の生徒の反応が良い。



自分の働きかけに対し反応があるのが嬉しい。



クラスメートとのコミュニケーションへの意欲

課題

音声が出ていることを視認できないため、ボタンを早押ししてしまう。

その2

かなもじ



国語

コミュニケーション手段を増やす(筆談)

なるべく多くの人に伝わる文字の獲得

文字の理解

iPadで

文字の定着

学習プリントで



その3

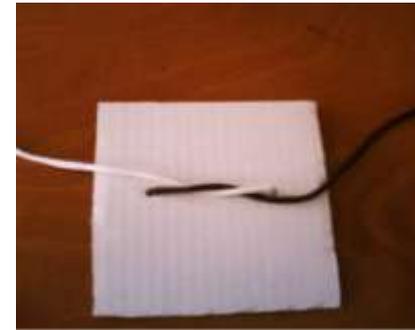
カメラ



自立活動

まずは手順を示した絵カードで学習

実際の結ぶ手順をわかりやすく提示したい



手順どおりに結べるようになった(学習)



実生活では宙で結ぶ場面が多い(生活)

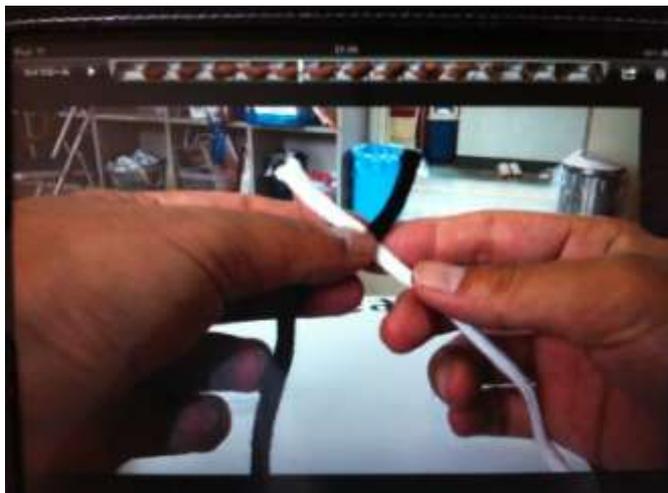
その3 カメラ



自立活動

まずは手順を示した絵カードで学習

実際の結ぶ手順をわかりやすく提示したい



自分(生徒)目線から見たように、
紐結びの動画を撮影



自分で操作をして、何度も繰り返し見て練習をしていた。

その4

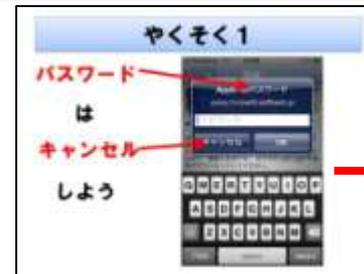
Keynote



自立活動

自分のiPhoneを所持している

直感的に操作ができるために、問題が発生
(アプリの消去・パスワードロック)



きまりの確認後、擬似体験してみる



同じような操作性のiPadを使い、
大きな画面で、よりわかりやすく学習

その4

Keynote



自立活動

今年度、交通事故に遭った

より実際に近い状態での学習を考えた



屋外であっても、PC・プロジェクターを
備えた教室のような学習の場に出れる



1年間の成果として

なんでもできる！！ → なんでもできる？



使えば使うほど…
これは便利な支援ツールの一つにすぎない



教師としてのひきだしの一つに

